

令和元年度 F D 実施報告書

研究科	流通科学研究科		
FD 取り組みへの理念・目標			
①次世代の地域ニーズに応じた修士課程教育プログラムの確立、②修士論文の質の向上、③教員の研究レベルの向上の達成に向けた教員相互の学び合いの場として FD 研修会を位置づけ、活発な意見交換・情報交換に努めていく。			
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等		
第 1 回 (2019. 6. 6)	大学院の将来構想について 近年の流通科学研究科の入学者に占める社会人入学者の割合低迷の現状と今後の大学院の目指す方向性とその実現に向けた対策について研究科長からの問題提起が行われた後に、質疑応答を行った。		
第 2 回 (2019. 7. 4)	社会人大学院生の受け入れについて 社会人の“学び直しニーズ”に対する流通科学研究科の展望・課題・今後の方向性について、SWOT 分析に基づいた提案が研究科長より行われ、その後意見交換を行った。		
第 3 回 (2019. 11. 7)	社会人大学院生の PR・募集について 社会人大学院生をターゲットとした募集の状況と課題について研究科長より説明を受けた。また、留学生と社会人大学院生のニーズ、学力レベル等の違いと、双方にとって魅力的な授業内容、指導方法について議論を行った。		
第 4 回 (2020. 2. 27)	総括と次年度へ向けて 社会人大学院生増加に向けた取り組みについて他大学の動向について研究科長より説明を受けた。その後、これまでの研修の総まとめを行い、流通科学研究科の現状と今後の方向性、課題について共通理解を得た。さらに、次年度への継続課題についても確認を行った。		
「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況			
項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ルーブリックの導入	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	基本的に大学院運営委員にて検討していく。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	<input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済	基本的に大学院運営委員にて検討していく。

<p>教育方法の改善</p>	<p>アクティブラーニング (特に PBL) の推進 PBL : 課題解決型授業</p>	<p><input type="checkbox"/>未着手 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>実施中 <input checked="" type="checkbox"/>実施済</p>	<p>流通科学特別実習にて、指導教員の指導により実施し、報告書を作成。</p>
<p>グローバル教育の推進</p>	<p>グローバル教育の導入</p>	<p><input type="checkbox"/>未着手 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>実施中 <input checked="" type="checkbox"/>実施済</p>	<p>国際コミュニケーション特論の科目内容の充実および英語版シラバスの作成を実施。</p>

「FD2014」はサイボウズのファイル管理ー「FD 推進センター」にあります